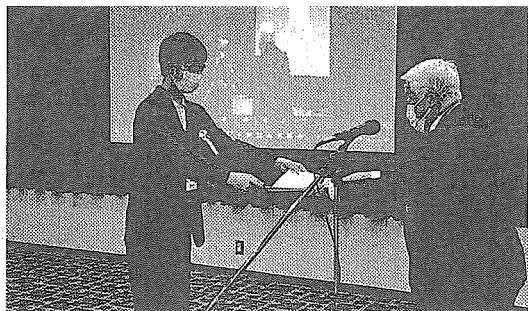


小野美智子さんと
油田悠作さんが最優秀

建コン九州、福岡市で
夢アイデア交流会開く



建設コンサルタンツ協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は3日、「夢アイデア交流会2022」を福岡市博多区のTKPガーデンシティ博多新幹線口で開いた。一般の部と今回から創設したジュニアの部

の計10人が街づくりに関するアイデアや夢を発表し、最優秀賞に一般の部は「だれもとりのぼされない安心な生活ができるように『スマート四阿』の提案」の小野美智子さん、ジュニアの部は「SDGs（持続可能な開発目標）と海とリサイクルな街」の油田悠作さん

が選ばれた。会場を拠点にオンライン形式で開催。夢アイデア提案募集に応募のあったジュニアの部16作品の中から選ばれた3作品、一般の部32作品の中から選ばれた7作品の提案者がプレゼンテーションを行い、ウェブ投票の結果も参考に審査した。小野さんは街中に設置する人々の困り事にAIが対応する大型ディスプレイのあるあずまやを提案した。「アイデアを評価してもらいうれしく思う」と受賞の喜びを語った。

油田さんはごみ拾いで商店街などで使えるポイントがもらえたり、ごみ拾いの様子をSNS（インターネット交流サイト）で発信したりといった積極的な参加を促す仕掛けを提案。「企画が実現し自分が参加できたらうれしい」と喜んだ。

このほか優秀賞には一般の部は「老岐の島・学園都市建設計画」の山内幾朗さん、ジュニアの部は「川原の土地を有効活用」の岩本千桜紀さんが選ばれた。審査委員らは「どれも社会課題を捉え、実現すると世の中が良くなるだろう」というアイデアばかりだったなどと講評を述べた。日野伸一審査委員長は「ジュニアの部は自分の体験の中から世界を変える発表で素晴らしかった。一般の部も含めて来年も大きな夢を描いてもらいたい」と総評した。